

平成27年度 第2回 淀川区子ども教育会議 議事要旨（公開）

日 時 平成27年12月15日（火）19:30～21:00

場 所 淀川区役所 5階 503会議室

出席者 委 員：大中 智佳 氏

久保 みのり 氏

坂井 肇 氏

佐藤 琢二 氏

泉水 清治 氏

辻川 松子 氏

藤本 好一 氏

増田 裕子 氏

松村 祥 氏

横山 和徳 氏

事務局：淀川区担当教育次長 榊 正文

淀川区教育担当部長 渋谷 靖

淀川区教育担当課長 榊原 幸一

淀川区教育担当課長代理 中山 浩司

教育政策課 担当係長 林 良枝

教育政策課 係員 福田 恵

淀川区役所 保健・子育て支援担当課長 鳶岡 理恵

大阪市立十三中学校 校長 森 健

大阪市立新東三国小学校 校長 吉田 恵美子

傍 聴：4名

議題1 平成28年度事業の予定について

（事務局より説明）

平成28年度実施予定事業について、現状予算要求している内容で説明。

- ・児童生徒の体力づくり支援事業
- ・淀川区英語交流事業
- ・淀川区小学生補習充実事業
- ・学校サポート事業
- ・淀川区発達障がいサポート事業
- ・淀川区生涯学習推進事業
- ・生涯学習ルーム事業
- ・小学校区教育協議会「はぐくみネット」事業
- ・学校体育施設開放事業

- ・人権啓発推進事業
- ・校庭等の芝生化事業
- ・民間事業者を活用した課外授業(ヨドジユク)
- ・子どもの睡眠習慣改善支援事業
- ・不登校等への対応にかかる教員へのサポート事業
- ・英語スピーチに関する自主学習への支援事業
- ・児童生徒の泳力向上支援事業(水泳指導にかかる専門家派遣)

(委員より意見)

○費用対効果を検証するという点で、予算金額のイメージと、費用対効果の検証の仕方について知りたい。

(事務局)

予算金額は、上記事業総枠で、32,111千円程度。効果検証の仕方としては、各事業に指標を設けており、特に重点的なものに関しては、運営方針に掲載して効果測定を行っている。(担当)

(委員より意見)

教員がプライドを持って取り組むことが大事。教職員の増加、ということが文科省でも言われているが、数よりも、創意工夫をしながら取り組むことが大事だ。

(事務局)

教育センターでも、教職員を体系的に育成していく研修の仕組みが検討されている。区としても、専門家の活用に関する現場の先生の認識を高める事業を企画中である。(担当)

(委員より意見)

来年度の事業を再編・拡大にあたり、27年度の成果などを踏まえておられると思う。各事業の目標設定について、前年度の実施状況を踏まえ、今年度の目標をどのように達成していくかの精査が必要である。

(委員より意見)

はぐくみ文庫が今年度で各小学校に完備されたはずだが、どのように生かしていくのか検証されたい。読書に関する取組を全中学校一律に実施できるような予算がとれないか。

(事務局)

今年度から、市教委が全市的に小中学校図書館の蔵書充実に向けた経費と、補助員の配置経費を積むことになった。補助員の配置は週1回なので、ボランティアの力を借りて、開館率の向上をめざす。(区長)

(委員より意見)

朝読などの取組も効果的ではないか。

(委員より意見)

読書の感想を言い合うなど、興味を持ったことについてアウトプットするような機会を設ける工夫ができないか。

(事務局)

そういった読書に関する取組について、補助員に提案を依頼中。(担当)

区役所が学校内での取組に言及するのは迂遠な面もあるため、ぜひ、そういったご意見は、学校協議会の場を活用して学校に届けてほしい。(区長)

(委員より意見)

教員の業務量の増大が心配。不要な業務の洗い出しを行うべきでは。

(事務局)

確かに現場の業務は増えつつある。中学校給食や統一テスト等、すべて重要な業務。創意工夫はしているのだが、教員数が増えればありがたい、というのは本音ではある。(中学校長)

議題2 睡眠習慣改善の取組について

(事務局より説明)

睡眠習慣改善の取組について、今年度、各校にて2学期からスタートしているのは第1回会議で予告したとおり。その実施状況について、11月にモニタリングを行った。来年度にむけ、各校において目標設定して試行錯誤、それを半年つづけて、来年度から本格開始、ということをお願いしたいと思っている。(榊区長)

区内6中学で申し合わせをしてアンケート調査を実施した。(中学校長)

(委員より意見)久保委員

チェックシートは有効と思う。保護者も大変だが、その分意識付けができる。

(事務局)

先行の三小のチェックシートはとても綿密でよい。保護者の強制力が必要と思う。(区長)

(委員より意見)

9月11日の講演会にもっと保護者が集まってほしかった。分かりやすいお得情報を知ることができる、などの打ち出しがあると良かった。

(委員より意見)

講演会で、家を真っ暗にして寝ると良い、という話があったので、そうしてみたら、子どもが苦手科目で100点を取った。

(事務局)

発信強化を検討していきたい。(担当)

(委員より意見)

睡眠や読書について、就学前の習慣づけが重要と思う。

(事務局)

就学前教育の重要性については認識している。(区長)

議題3 その他

(事務局より説明)

学校メールの活用というテーマについて。学校から保護者への連絡ツールの充実という視点から、学校メールの可能性についてご意見を聞きたい。

学力テストの対策というテーマについて。教育委員会は、学テの過去問をデータ配信している。各校では、対策をするかどうかは各校の判断にまかされていて、対策をするところもあるし、普段の授業を大事にして特別の対策はしないが好成績をとっている学校もある。

(委員より意見)

学テはあくまでひとつの指標にすぎないが、私は対策したほうが良いと思う。なぜなら、良い点を取れたら、子どもの自信になる。自信がつけば、やる気もでる。大阪市の子どもはだめだ、と言われていてかわいそうだ。

(委員より意見)

各校の裁量に任されると、余裕がない学校ではできなくなるから、統一的に実施、としてほしいほどだ。

(委員より意見)

小テストのような形で準備されていれば、先生も問題を作る手間を省けるし、良いのでは。積極的に活用しなさい、というような働きかけはできないものか。

(事務局)

ぜひ学校協議会で声をあげてほしい。

(委員より意見)

学校課題について、区でやってくれ、というものもあるが、やはり学校協議会が学校に直接働きかける場。保護者からの意見が直接届く会議だから、ここでしっかり意見を言うことが大事。上からの押しつけでは難しいだろう。この子ども教育会議の意見も、校長先生に直接届けたい。